

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺病院	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	
		病院名	大阪府立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,839,469	
決算規模(千円)	2,526,284,618	
標準財政規模(千円)	1,577,599,223	
財政力指数	0.79205	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.3
	将来負担比率(%)	164.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	75,125			
1 経常収益	75,125			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	75,125			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	75,125			
2 経常費用	75,125			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	75,125			
(うち支払利息)	75,125	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,756,789,204	
標準財政規模(千円)	851,840,443	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	21.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	481,057			
1 経常収益	481,057			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	481,057			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	481,057			
2 経常費用	481,057			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	481,057			
(うち支払利息)	481,057	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	14,721,503			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	十三市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,756,789,204	
標準財政規模(千円)	851,840,443	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	21.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	153,347			
1 経常収益	153,347			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	153,347			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	153,347			
2 経常費用	153,347			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	153,347			
(うち支払利息)	153,347	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	7,450,196			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	堺市
		病院名	堺病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	839,310	
決算規模(千円)	415,724,995	
標準財政規模(千円)	221,268,938	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	100.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	9.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	178,784			
2 経常費用	178,784			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	178,784			
(うち支払利息)	178,784	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-178,784			
純損益	-178,784			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	岸和田市
				病院名	岸和田市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,575 m ²	指定病院の状況	救臨が 地 輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	400	76.4	79.8	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	76.4	79.8	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.9	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	194,911	
決算規模(千円)	74,604,907	
標準財政規模(千円)	42,317,854	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	101.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	28.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.0
修正医業収益(千円)	12,521,596

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,902,746			
1 経常収益	13,902,746			
(1) 医業収益	12,788,761			
入院収益	7,341,009			
外来収益	4,967,763			
診療収入計	12,308,772			
その他医業収益	479,989			
(うち他会計負担金)	267,165			
(2) 医業外収益	1,113,985			
(うち国・都道府県補助金)	22,979			
(うち他会計補助・負担金)	834,689			
(うち長期前受金戻入)	15,547			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,064,495			
2 経常費用	13,914,230			
(1) 医業費用	13,041,269			
職員給与費	6,259,594	48.9	55.7	54.0
材料費	3,957,934	30.9	24.7	26.9
(うち薬品費)	2,303,478	18.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,571,508	12.3	11.0	12.2
減価償却費	759,150	5.9	9.0	7.9
経費	1,990,483	15.6	23.3	19.2
(うち委託料)	1,361,373	10.6	11.5	9.3
研究研修費	48,368			
資産減耗費	25,740			
(2) 医業外費用	872,961			
(うち支払利息)	257,432	2.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	150,265			
損益				
経常損益	-11,484			
純損益	-161,749			
累積欠損金	4,477,469			
経常収支比率	99.9		97.7	98.8
医業収支比率	98.1		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	92.0		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,237,273
1 固定資産	14,139,752
(1) 有形固定資産	14,033,564
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	105,080
2 流動資産	2,097,521
(1) 現金及び預金	67,044
(2) 未収金及び未収収益	1,919,755
(3) 貸倒引当金()	200
(4) 貯蔵品	110,922
3 繰延資産	-
負債合計	13,287,658
1 固定負債	9,144,558
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,987,687
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,134,612
(7) リース債務	22,259
2 流動負債	4,052,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,407,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	352,006
(6) リース債務	5,526
(7) 一時借入金	1,060,000
(8) 未払金及び未払費用	1,228,053
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,232
(1) 長期前受金	194,443
(2) 長期前受金収益化累計額()	104,211
資本合計	2,949,615
1 資本金	7,328,065
2 剰余金	-4,378,450
(1) 資本金剰余金	99,019
(2) 利益剰余金	-4,477,469
負債・資本合計	16,237,273
不良債務	548,064
実質資金不足額	548,064
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,484,715	1,101,854
資本勘定繰入	614,851	304,875
計	2,099,566	1,406,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	548,064	4.3
平成30年度	151,488	1.2
平成29年度	198,014	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.0
健全化法上の資金不足額(千円)	548,064
健全化法上の資金不足比率(%)	4.2
地財法上の資金不足額(千円)	548,064
地財法上の資金不足比率(%)	4.2

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	豊中市
	病院名	市立豊中病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	67,544 m ²	指定病院の状況	救臨が感地輪
診療科数	24	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	599	82.3	85.9	88.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	4.0	-	-
計	613	80.5	83.9	86.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	11.0	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	395,479	
決算規模(千円)	146,338,700	
標準財政規模(千円)	84,449,144	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.8
修正医業収益(千円)	17,287,511

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,397,048			
1 経常収益	19,397,048			
(1) 医業収益	17,720,704			
入院収益	11,662,264			
外来収益	5,277,260			
診療収入計	16,939,524			
その他医業収益	781,180			
(うち他会計負担金)	433,193			
(2) 医業外収益	1,676,344			
(うち国・都道府県補助金)	74,448			
(うち他会計補助・負担金)	933,258			
(うち長期前受金戻入)	483,935			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,234,799			
2 経常費用	20,234,799			
(1) 医業費用	19,243,940			
職員給与費	9,309,547	52.5	55.7	49.1
材料費	5,048,049	28.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,831,873	16.0	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,087,772	11.8	11.0	12.7
減価償却費	1,375,300	7.8	9.0	8.4
経費	3,447,556	19.5	23.3	20.7
(うち委託料)	1,761,425	9.9	11.5	11.6
研究研修費	54,644			
資産減耗費	8,844			
(2) 医業外費用	990,859			
(うち支払利息)	212,572	1.2	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-837,751			
純損益	-837,751			
累積欠損金	1,834,835			
経常収支比率	95.9		97.7	98.8
医業収支比率	92.1		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	89.1		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,436,140
1 固定資産	18,614,891
(1) 有形固定資産	18,574,159
(2) 無形固定資産	40,732
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,821,249
(1) 現金及び預金	4,781,129
(2) 未収金及び未収収益	2,837,606
(3) 貸倒引当金()	20,463
(4) 貯蔵品	196,245
3 繰延資産	-
負債合計	15,952,423
1 固定負債	10,134,887
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,624,761
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,510,126
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,595,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,461,703
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,812
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,468,970
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,222,352
(1) 長期前受金	5,027,302
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,804,950
資本合計	10,483,717
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	-609,657
(1) 資本剰余金	1,225,178
(2) 利益剰余金	-1,834,835
負債・資本合計	26,436,140
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,357,330	1,366,451
資本勘定繰入	895,441	895,441
計	2,252,771	2,261,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	池田市
				病院名	市立池田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,896 m ²	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	364	91.5	90.7	90.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	91.5	90.7	90.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.7	10.9	11.9

設立団体の状況		
人口（人）	103,069	
決算規模（千円）	40,341,526	
標準財政規模（千円）	21,767,544	
財政力指数	0.87	
経常収支比率（%）	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.7
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,429,722			
1 経常収益	12,429,722			
(1) 医業収益	12,153,668			
入院収益	7,759,707			
外来収益	3,917,606			
診療収入計	11,677,313			
その他医業収益	476,355			
(うち他会計負担金)	150,238			
(2) 医業外収益	276,054			
(うち国・都道府県補助金)	21,753			
(うち他会計補助・負担金)	128,769			
(うち長期前受金戻入)	9,139			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,684,678			
2 経常費用	12,684,673			
(1) 医業費用	12,012,036			
職員給与費	5,661,281	46.6	55.7	57.0
材料費	3,284,004	27.0	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,972,992	16.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,301,694	10.7	11.0	11.3
減価償却費	801,840	6.6	9.0	9.3
経費	2,195,426	18.1	23.3	22.1
(うち委託料)	1,402,275	11.5	11.5	11.1
研究研修費	39,183			
資産減耗費	30,302			
(2) 医業外費用	672,637			
(うち支払利息)	197,118	1.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	5			
損益				
経常損益	-254,951			
純損益	-254,956			
累積欠損金	18,160,968			
経常収支比率	98.0		97.7	96.4
医業収支比率	101.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	2.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	2.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	2.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	95.8		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	16,466,016
1 固定資産	13,962,319
(1) 有形固定資産	13,938,140
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	3,000
2 流動資産	2,503,697
(1) 現金及び預金	511,333
(2) 未収金及び未収収益	1,965,583
(3) 貸倒引当金（ ）	10,491
(4) 貯蔵品	37,272
3 繰延資産	-
負債合計	12,471,459
1 固定負債	9,084,642
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,248,609
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,682,595
(7) リース債務	153,438
2 流動負債	3,265,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,320,109
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,222
(6) リース債務	21,569
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,520,001
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	121,783
(1) 長期前受金	211,272
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	89,489
資本合計	3,994,557
1 資本金	22,144,145
2 剰余金	-18,149,588
(1) 資本金剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-18,160,968
負債・資本合計	16,466,016
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	99.9
修正医業収益（千円）	12,003,430

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	618,094	279,007
資本勘定繰入	761,118	761,118
計	1,379,212	1,040,125

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	149.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	吹田市
		病院名	吹田市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	374,468	
決算規模(千円)	135,536,180	
標準財政規模(千円)	71,435,075	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	135,822			
1 経常収益	135,822			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	135,822			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	135,822			
2 経常費用	135,822			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	135,822			
(うち支払利息)	135,822	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	泉大津市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,313 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	230	63.9	70.1	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	63.9	70.1	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.5	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	75,897	
決算規模(千円)	27,745,931	
標準財政規模(千円)	16,699,454	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	47.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,452,416			
1 経常収益	5,452,416			
(1) 医業収益	4,966,548			
入院収益	2,640,477			
外来収益	1,784,640			
診療収入計	4,425,117			
その他医業収益	541,431			
(うち他会計負担金)	175,843			
(2) 医業外収益	485,868			
(うち国・都道府県補助金)	29,918			
(うち他会計補助・負担金)	400,196			
(うち長期前受金戻入)	4,588			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,955,181			
2 経常費用	5,955,181			
(1) 医業費用	5,671,512			
職員給与費	2,748,277	55.3	55.7	59.8
材料費	1,030,569	20.8	24.7	19.0
(うち薬品費)	617,278	12.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	412,928	8.3	11.0	9.2
減価償却費	283,931	5.7	9.0	9.9
経費	1,597,875	32.2	23.3	27.7
(うち委託料)	579,097	11.7	11.5	12.4
研究研修費	10,185			
資産減耗費	675			
(2) 医業外費用	283,669			
(うち支払利息)	86,540	1.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-502,765			
純損益	-502,765			
累積欠損金	8,845,778			
経常収支比率	91.6		97.7	96.3
医業収支比率	87.6		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	81.9		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,669,489
1 固定資産	6,715,809
(1) 有形固定資産	6,698,259
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	17,550
2 流動資産	953,680
(1) 現金及び預金	130,693
(2) 未収金及び未収収益	806,933
(3) 貸倒引当金()	600
(4) 貯蔵品	14,057
3 繰延資産	-
負債合計	8,038,055
1 固定負債	4,944,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,215,480
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	550,000
(6) 引当金	1,123,987
(7) リース債務	55,224
2 流動負債	2,994,186
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	464,005
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	190,873
(6) リース債務	35,583
(7) 一時借入金	1,850,000
(8) 未払金及び未払費用	373,987
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	99,178
(1) 長期前受金	188,834
(2) 長期前受金収益化累計額()	89,656
資本合計	-368,566
1 資本金	8,467,212
2 剰余金	-8,835,778
(1) 資本金剰余金	10,000
(2) 利益剰余金	-8,845,778
負債・資本合計	7,669,489
不良債務	1,576,501
実質資金不足額	1,576,501
資金不足額()	368,566
資本不足額(繰延収益控除後)()	269,388
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	4,790,705

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	635,425	576,039
資本勘定繰入	358,754	343,908
計	994,179	919,947

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,576,501	31.7
平成30年度	1,129,159	22.0
平成29年度	967,493	19.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	178.1
健全化法上の資金不足額(千円)	817,530
健全化法上の資金不足比率(%)	16.4
地財法上の資金不足額(千円)	1,576,501
地財法上の資金不足比率(%)	31.7

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	貝塚市
				病院名	貝塚病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,079 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	249	71.5	69.7	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	71.5	69.7	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)		8.1	7.9	8.6

設立団体の状況		
人口(人)	88,694	
決算規模(千円)	32,938,697	
標準財政規模(千円)	18,425,874	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	32.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.5
修正医業収益(千円)	6,340,998

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,378,566			
1 経常収益	7,197,278			
(1) 医業収益	6,521,515			
入院収益	3,757,363			
外来収益	2,405,024			
診療収入計	6,162,387			
その他医業収益	359,128			
(うち他会計負担金)	180,517			
(2) 医業外収益	675,763			
(うち国・都道府県補助金)	7,705			
(うち他会計補助・負担金)	372,813			
(うち長期前受金戻入)	236,458			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	181,288			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,217,434			
2 経常費用	7,217,434			
(1) 医業費用	6,855,920			
職員給与費	3,218,363	49.3	55.7	59.8
材料費	1,529,989	23.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	888,204	13.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	602,908	9.2	11.0	9.2
減価償却費	425,354	6.5	9.0	9.9
経費	1,638,594	25.1	23.3	27.7
(うち委託料)	616,893	9.5	11.5	12.4
研究研修費	24,527			
資産減耗費	19,093			
(2) 医業外費用	361,514			
(うち支払利息)	107,440	1.6	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-20,156			
純損益	161,132			
累積欠損金	3,266,213			
経常収支比率	99.7		97.7	96.3
医業収支比率	95.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	92.1		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,737,063
1 固定資産	4,755,568
(1) 有形固定資産	4,746,574
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	5,650
2 流動資産	981,495
(1) 現金及び預金	23,515
(2) 未収金及び未収収益	954,457
(3) 貸倒引当金()	47,552
(4) 貯蔵品	50,783
3 繰延資産	-
負債合計	6,865,436
1 固定負債	4,702,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,382,043
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	50,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,194,172
(7) リース債務	76,471
2 流動負債	1,939,911
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	570,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,344
(6) リース債務	33,559
(7) 一時借入金	380,000
(8) 未払金及び未払費用	706,981
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	222,839
(1) 長期前受金	3,165,170
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,942,331
資本合計	-1,128,373
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-2,457,134
(1) 資本金剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-3,266,213
負債・資本合計	5,737,063
不良債務	377,898
実質資金不足額	377,898
資金不足額()	1,128,373
資本不足額(繰延収益控除後)()	905,534
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	682,478	553,330
資本勘定繰入	346,670	346,670
計	1,029,148	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	377,898	5.8
平成30年度	335,055	5.2
平成29年度	24,888	0.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.1
健全化法上の資金不足額(千円)	377,898
健全化法上の資金不足比率(%)	5.7
地財法上の資金不足額(千円)	377,898
地財法上の資金不足比率(%)	5.7

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府	
				市町村・組合名	枚方市	
				病院名	市立ひらかた病院	
施設及び業務概況等						
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	未	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当			
建物面積	31,824 m ²	指定病院の状況	救臨感 輪			
診療科数	24	看護配置	7:1			
許可公営企業		経営形態	直営			
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満			

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	327	78.6	78.0	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	5.5	0.6	0.3
計	335	76.9	76.1	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.8	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	404,152	
決算規模(千円)	135,493,533	
標準財政規模(千円)	77,953,038	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.2
修正医業収益(千円)	8,259,377

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,035,291			
1 経常収益	10,031,691			
(1) 医業収益	8,601,289			
入院収益	5,451,630			
外来収益	2,447,613			
診療収入計	7,899,243			
その他医業収益	702,046			
(うち他会計負担金)	341,912			
(2) 医業外収益	1,430,402			
(うち国・都道府県補助金)	20,035			
(うち他会計補助・負担金)	762,317			
(うち長期前受金戻入)	443,813			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,065,149			
2 経常費用	10,065,149			
(1) 医業費用	9,578,149			
職員給与費	4,809,504	55.9	55.7	57.0
材料費	1,658,315	19.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	859,675	10.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	791,812	9.2	11.0	11.3
減価償却費	1,173,081	13.6	9.0	9.3
経費	1,844,315	21.4	23.3	22.1
(うち委託料)	1,048,624	12.2	11.5	11.1
研究研修費	20,562			
資産減耗費	72,372			
(2) 医業外費用	487,000			
(うち支払利息)	120,554	1.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-33,458			
純損益	-29,858			
累積欠損金	42,531			
経常収支比率	99.7		97.7	96.4
医業収支比率	89.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.7		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,371,453
1 固定資産	10,518,683
(1) 有形固定資産	10,483,634
(2) 無形固定資産	2,200
(3) 投資その他の資産	32,849
2 流動資産	2,852,770
(1) 現金及び預金	1,527,532
(2) 未収金及び未収収益	1,219,559
(3) 貸倒引当金()	1,596
(4) 貯蔵品	105,925
3 繰延資産	-
負債合計	13,370,544
1 固定負債	10,876,898
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,466,324
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,405,435
(7) リース債務	5,139
2 流動負債	1,753,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	627,996
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	300,285
(6) リース債務	1,434
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	712,785
(9) 前受金及び前受収益	29,582
3 繰延収益	739,973
(1) 長期前受金	1,729,682
(2) 長期前受金収益化累計額()	989,709
資本合計	909
1 資本金	10,299
2 剰余金	-9,390
(1) 資本金剰余金	33,141
(2) 利益剰余金	-42,531
負債・資本合計	13,371,453
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,104,229	1,104,229
資本勘定繰入	457,268	457,268
計	1,561,497	1,561,497

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	八尾市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	指定病院の状況	救臨が地		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	380	89.3	91.8	89.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	89.3	91.8	89.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.0	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	268,800	
決算規模(千円)	100,525,222	
標準財政規模(千円)	57,032,209	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	10.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,808,586			
1 経常収益	14,764,930			
(1) 医業収益	13,475,648			
入院収益	8,540,758			
外来収益	4,283,123			
診療収入計	12,823,881			
その他医業収益	651,767			
(うち他会計負担金)	274,772			
(2) 医業外収益	1,289,282			
(うち国・都道府県補助金)	10,824			
(うち他会計補助・負担金)	592,274			
(うち長期前受金戻入)	609,616			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	43,656			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,038,387			
2 経常費用	15,018,043			
(1) 医業費用	14,126,709			
職員給与費	6,220,675	46.2	55.7	57.0
材料費	3,546,994	26.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	2,044,293	15.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,502,701	11.2	11.0	11.3
減価償却費	1,222,868	9.1	9.0	9.3
経費	3,072,419	22.8	23.3	22.1
(うち委託料)	2,200,904	16.3	11.5	11.1
研究研修費	43,203			
資産減耗費	20,550			
(2) 医業外費用	891,334			
(うち支払利息)	211,020	1.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	20,344			
損益				
経常損益	-253,113			
純損益	-229,801			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.3		97.7	96.4
医業収支比率	95.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	92.5		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,140,286
1 固定資産	14,378,576
(1) 有形固定資産	14,185,171
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	193,263
2 流動資産	7,761,710
(1) 現金及び預金	5,630,210
(2) 未収金及び未収収益	2,049,292
(3) 貸倒引当金()	4,425
(4) 貯蔵品	77,811
3 繰延資産	-
負債合計	18,654,344
1 固定負債	13,383,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,825,119
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,451,333
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,366,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,366,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	619,913
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,334,733
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	904,491
(1) 長期前受金	4,384,384
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,479,893
資本合計	3,485,942
1 資本金	2,497,286
2 剰余金	988,656
(1) 資本金剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	970,631
負債・資本合計	22,140,286
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.4
修正医業収益(千円)	13,200,876

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	889,240	867,046
資本勘定繰入	818,266	673,900
計	1,707,506	1,540,946

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	泉佐野市
		病院名	泉佐野病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		100,966
決算規模(千円)		93,984,764
標準財政規模(千円)		23,272,374
財政力指数		0.95
経常収支比率(%)		103.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	79.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	205,198			
1 経常収益	205,198			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	205,198			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	205,198			
2 経常費用	205,198			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	205,198			
(うち支払利息)	205,198	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	和泉市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,493 m ²	指定病院の状況	救臨が	輪	
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	307	100.7	97.3	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	100.7	97.3	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	12.0	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	186,109	
決算規模(千円)	63,885,904	
標準財政規模(千円)	34,735,901	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	672,520			
1 経常収益	669,337			
(1) 医業収益	208,022			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	208,022			
(うち他会計負担金)	181,483			
(2) 医業外収益	461,315			
(うち国・都道府県補助金)	6,551			
(うち他会計補助・負担金)	126,542			
(うち長期前受金戻入)	230,436			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,183			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,525,371			
2 経常費用	1,525,371			
(1) 医業費用	1,408,371			
職員給与費	136	0.1	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	934,687	449.3	9.0	9.3
経費	293,548	141.1	23.3	22.1
(うち委託料)	32,119	15.4	11.5	11.1
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	180,000	-	-	-
(2) 医業外費用	117,000	-	-	-
(うち支払利息)	96,056	46.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-856,034			
純損益	-852,851			
累積欠損金	11,229,305			
経常収支比率	43.9		97.7	96.4
医業収支比率	14.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	46.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	148.1		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	45.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	23.7		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,680,555
1 固定資産	15,318,915
(1) 有形固定資産	15,311,978
(2) 無形固定資産	6,937
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	361,640
(1) 現金及び預金	283,838
(2) 未収金及び未収収益	77,802
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	16,760,923
1 固定負債	15,399,930
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,989,030
(2) その他の企業債	410,900
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,208,911
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	846,362
(2) その他の企業債	1,300
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	359,248
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	152,082
(1) 長期前受金	508,243
(2) 長期前受金収益化累計額()	356,161
資本合計	-1,080,368
1 資本金	7,924,460
2 剰余金	-9,004,828
(1) 資本金剰余金	2,224,477
(2) 利益剰余金	-11,229,305
負債・資本合計	15,680,555
不良債務	909
実質資金不足額	909
資金不足額()	1,080,368
資本不足額(繰延収益控除後)()	928,286
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.9
修正医業収益(千円)	26,539

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	280,435	308,025
資本勘定繰入	414,007	469,810
計	694,442	777,835

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	909	0.4
平成30年度	-	-
平成29年度	240,546	134.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5398.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	411,809
地財法上の資金不足比率(%)	197.9

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	箕面市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067 m ²	指定病院の状況	救臨 地 輪		
診療科数	26	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	317	86.2	88.8	90.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	86.2	88.8	90.3
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	11.4	11.3

設立団体の状況		
人口（人）	133,411	
決算規模（千円）	63,653,150	
標準財政規模（千円）	26,534,301	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.5
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.0
修正医業収益（千円）	8,505,974

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,693,468			
1 経常収益	8,693,468			
(1) 医業収益	8,514,886			
入院収益	5,732,282			
外来収益	2,534,907			
診療収入計	8,267,189			
その他医業収益	247,697			
(うち他会計負担金)	8,912			
(2) 医業外収益	178,582			
(うち国・都道府県補助金)	20,551			
(うち他会計補助・負担金)	21,088			
(うち長期前受金戻入)	56,025			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,898,402			
2 経常費用	9,869,702			
(1) 医業費用	9,561,199			
職員給与費	5,155,925	60.6	55.7	57.0
材料費	1,923,205	22.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	998,005	11.7	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	866,908	10.2	11.0	11.3
減価償却費	595,682	7.0	9.0	9.3
経費	1,849,919	21.7	23.3	22.1
(うち委託料)	820,510	9.6	11.5	11.1
研究研修費	27,200			
資産減耗費	9,268			
(2) 医業外費用	308,503			
(うち支払利息)	6,870	0.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	28,700			
損益				
経常損益	-1,176,234			
純損益	-1,204,934			
累積欠損金	11,750,889			
経常収支比率	88.1		97.7	96.4
医業収支比率	89.1		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	0.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	0.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	0.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	87.8		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,065,840
1 固定資産	9,515,095
(1) 有形固定資産	9,469,452
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	44,457
2 流動資産	1,550,745
(1) 現金及び預金	300,927
(2) 未収金及び未収収益	1,199,875
(3) 貸倒引当金（ ）	8,349
(4) 貯蔵品	58,292
3 繰延資産	-
負債合計	5,242,335
1 固定負債	3,413,418
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,631
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,300,000
(6) 引当金	1,620,102
(7) リース債務	89,685
2 流動負債	1,049,170
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	263,333
(6) リース債務	23,966
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	580,421
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	779,747
(1) 長期前受金	1,105,761
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	326,014
資本合計	5,823,505
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-10,339,424
(1) 資本金剰余金	1,406,465
(2) 利益剰余金	-11,745,889
負債・資本合計	11,065,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,158	30,000
資本勘定繰入	105,977	601,000
計	353,135	631,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	138.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	柏原市
				病院名	市立柏原病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	16	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	220	78.3	75.8	78.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	78.3	75.8	78.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.7	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	71,112	
決算規模(千円)	25,491,793	
標準財政規模(千円)	14,913,810	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,571,908			
1 経常収益	4,559,358			
(1) 医業収益	4,192,681			
入院収益	2,965,752			
外来収益	918,171			
診療収入計	3,883,923			
その他医業収益	308,758			
(うち他会計負担金)	97,704			
(2) 医業外収益	366,677			
(うち国・都道府県補助金)	1,771			
(うち他会計補助・負担金)	166,303			
(うち長期前受金戻入)	99,778			
(うち資本費繰入収益)	73,632			
(3) 特別利益	12,550			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,781,765			
2 経常費用	4,781,765			
(1) 医業費用	4,535,244			
職員給与費	2,402,549	57.3	55.7	59.8
材料費	747,576	17.8	24.7	19.0
(うち薬品費)	389,995	9.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	323,097	7.7	11.0	9.2
減価償却費	272,739	6.5	9.0	9.9
経費	1,098,476	26.2	23.3	27.7
(うち委託料)	531,839	12.7	11.5	12.4
研究研修費	6,085			
資産減耗費	7,819			
(2) 医業外費用	246,521			
(うち支払利息)	81,517	1.9	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-222,407			
純損益	-209,857			
累積欠損金	2,166,791			
経常収支比率	95.3		97.7	96.3
医業収支比率	92.4		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	89.8		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,509,585
1 固定資産	5,470,844
(1) 有形固定資産	5,324,585
(2) 無形固定資産	10,818
(3) 投資その他の資産	135,441
2 流動資産	1,038,741
(1) 現金及び預金	396,856
(2) 未収金及び未収収益	647,351
(3) 貸倒引当金()	17,870
(4) 貯蔵品	12,404
3 繰延資産	-
負債合計	7,337,167
1 固定負債	4,518,255
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,722,370
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	795,885
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,096,274
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	416,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,259
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,100,000
(8) 未払金及び未払費用	419,114
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	722,638
(1) 長期前受金	6,096,989
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,374,351
資本合計	-827,582
1 資本金	1,207,261
2 剰余金	-2,034,843
(1) 資本金剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	-2,166,791
負債・資本合計	6,509,585
不良債務	640,814
実質資金不足額	640,814
資金不足額()	827,582
資本不足額(繰延収益控除後)()	104,944
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.3
修正医業収益(千円)	4,094,977

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,344	264,007
資本勘定繰入	238,206	558,206
計	500,550	822,213

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	640,814	15.3
平成30年度	703,416	17.0
平成29年度	698,643	17.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.7
健全化法上の資金不足額(千円)	640,814
健全化法上の資金不足比率(%)	15.2
地財法上の資金不足額(千円)	640,814
地財法上の資金不足比率(%)	15.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	藤井寺市
				病院名	市立藤井寺市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,423 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	98	70.6	80.9	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	70.6	80.9	82.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	10.6	10.0

設立団体の状況		
人口（人）	65,438	
決算規模（千円）	23,929,170	
標準財政規模（千円）	13,743,594	
財政力指数	0.62	
経常収支比率（%）	100.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.5
	将来負担比率（%）	75.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.7
修正医業収益（千円）	2,129,042

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,245,984			
1 経常収益	2,245,984			
(1) 医業収益	2,129,042			
入院収益	980,623			
外来収益	1,070,350			
診療収入計	2,050,973			
その他医業収益	78,069			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	116,942			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	106,948			
(うち長期前受金戻入)	351			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,421,792			
2 経常費用	2,421,792			
(1) 医業費用	2,321,321			
職員給与費	1,169,494	54.9	55.7	72.6
材料費	803,298	37.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	673,245	31.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	113,923	5.4	11.0	5.6
減価償却費	96,654	4.5	9.0	11.1
経費	227,177	10.7	23.3	31.9
(うち委託料)	133,408	6.3	11.5	13.0
研究研修費	8,174			
資産減耗費	16,524			
(2) 医業外費用	100,471			
(うち支払利息)	12,829	0.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-175,808			
純損益	-175,808			
累積欠損金	2,239,864			
経常収支比率	92.7		97.7	97.4
医業収支比率	91.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	88.3		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,190,689
1 固定資産	1,317,350
(1) 有形固定資産	1,316,512
(2) 無形固定資産	166
(3) 投資その他の資産	672
2 流動資産	873,339
(1) 現金及び預金	591,045
(2) 未収金及び未収収益	264,474
(3) 貸倒引当金（ ）	2,221
(4) 貯蔵品	20,041
3 繰延資産	-
負債合計	1,692,524
1 固定負債	1,364,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	834,518
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	529,589
(7) リース債務	-
2 流動負債	322,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,487
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	78,390
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	169,803
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,737
(1) 長期前受金	17,547
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	11,810
資本合計	498,165
1 資本金	2,676,301
2 剰余金	-2,178,136
(1) 資本金剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-2,239,864
負債・資本合計	2,190,689
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,948	106,948
資本勘定繰入	35,815	35,815
計	142,763	142,763

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	105.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	東大阪市
		病院名	総合病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	502,784	
決算規模(千円)	204,202,055	
標準財政規模(千円)	109,402,288	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	5.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	183,096			
1 経常収益	183,096			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	183,096			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	183,096			
2 経常費用	183,096			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	183,096			
(うち支払利息)	183,096	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	阪南市
				病院名	阪南市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,965 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	23	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	185	77.6	71.2	70.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	77.6	71.2	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.4	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	54,276	
決算規模(千円)	17,811,173	
標準財政規模(千円)	11,052,767	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	76.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	349,694			
1 経常収益	349,694			
(1) 医業収益	9,179			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	9,179			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	340,515			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	237,753			
(うち長期前受金戻入)	11,471			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	397,127			
2 経常費用	397,127			
(1) 医業費用	355,260			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	121,111	1319.4	9.0	10.2
経費	229,621	2501.6	23.3	30.5
(うち委託料)	10,399	113.3	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	4,528	-	-	-
(2) 医業外費用	41,867	-	-	-
(うち支払利息)	38,539	419.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-47,433			
純損益	-47,433			
累積欠損金	4,056,510			
経常収支比率	88.1		97.7	96.5
医業収支比率	2.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	68.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	2590.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	68.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	28.2		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,634,882
1 固定資産	2,454,148
(1) 有形固定資産	2,452,415
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	180,734
(1) 現金及び預金	179,807
(2) 未収金及び未収収益	927
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,664,132
1 固定負債	2,447,875
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,447,875
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	120,493
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,961
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,532
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	95,764
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	226,915
資本合計	-29,250
1 資本金	2,760,874
2 剰余金	-2,790,124
(1) 資本剰余金	1,266,386
(2) 利益剰余金	-4,056,510
負債・資本合計	2,634,882
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	29,250
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.6
修正医業収益(千円)	9,179

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	47,416	237,753
資本勘定繰入	46,519	47,816
計	93,935	285,569

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44193.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。